



ちょっと便利な

図書館の使い方

本・雑誌の予約 基本

図書館の本や雑誌は、予約をすることができます。市内図書館に所蔵のある貸出中の本や、市内の他の図書館の本・雑誌等も、予約をすることで、お近くの図書館で受取ることができますので、欲しい本が書棚にない場合等ありましたら、お気軽にご利用ください。



予約は、1人につき、本・雑誌は10点まで、視聴覚資料(CD・DVD等)は2点までです。予約方法は専用の用紙にご記入の上、カウンターへお出しいただくか、図書館ホームページや館内の検索機から行う、という2種類です。

WEB予約・メール連絡 基本

市内図書館に所蔵のある本は、インターネット上からも検索・予約することができます。予約するには、パスワードが必要です。図書館ホームページからアクセスして、利用者番号とパスワードを入力し、予約をすると、ご希望の図書館で受け取れます。

メールアドレスをホームページからご登録いただきますと、予約本の到着をメールでお知らせします。



「べんりなりリスト」 応用

ホームページの「メインメニュー」の一番下にあります。新着案内・予約ベスト・貸出ベストはこちらから見られます。「べんりなりリスト」には視聴覚資料・赤ちゃん向け絵本・ライトノベルの一覧があり、お好みの本を探す時に便利なリストです。「図書館の本って、どこを見て探せばいいの?」と思った時に、ちょっとのぞいてみてください。



レファレンスサービス 応用

お探しの本、「こんな事を調べてるんだけど、どの本に載ってる?」等の、本を見つけるお手伝いを致します。お気軽にカウンターまでお声掛け下さい。

このように、図書館には本を読む・借りる・返す、以外の活用方法があります。是非、今後ご利用下さい。

各図書館 インフォメーション

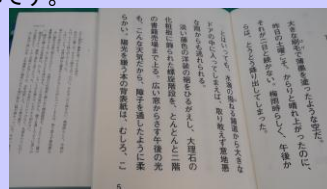
谷津図書館 習志野市谷津5丁目16番33号
Tel. 047-471-2072

大活字本コーナー

「大活字本」をご存知ですか?本の文字が小さくて見づらいという方でも、読書が楽しめるように作られた本です。



→ 単行本



← 大活字本

北村薫『鷺と雪』で、単行本と大活字本を見比べてみましょう。文字の大きさ、書体等の違いが、はっきりとわかりますね。また、単行本では1冊ですが、大活字本では、複数分冊になっています。

新習志野図書館 習志野市秋津3丁目6番3号
Tel. 047-453-3399

『明治文学全集』全100巻 復刊!

明治の文学作品を歴史的・系統的に編集した全集が、筑摩書房より特別限定復刊されました。歴史に埋もれた作品も発掘・収録しており、専門研究者により発表時の姿が再現され、作家別作品集はもちろん、『明治女流文学集』、『明治開化期文学集』、『明治紀行文学集』など、多彩な分野別の作品集があります。

共通語としての日本語や文体を試行錯誤していた時代に、江戸～明治に生きる人々がどのように時代を見つめ築いてきたのか、当時の世相に思いを馳せながら、楽しんでください。



東習志野図書館 習志野市東習志野3丁目1番20号
Tel. 047-473-2011

東習志野図書館は緑豊かな文教地区の一画にあります。東習志野コミュニティセンターの1階です。児童コーナーはじゅうたん敷きで小さなお子様連れでも安心です。



近くには多目的施設プレーメン習志野、東部体育館、習志野市総合教育センター、雨の日でも子どもが遊べるこどもセンター(東習志野こども園内)などがあります。

ぜひお立ち寄り下さい。
大人のための教養講座

— 終活のすすめ 遺言書講座 —

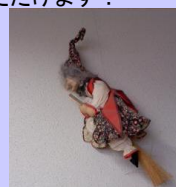
6月29日(土) 午後2時～4時
東習志野コミュニティセンター3階 講義室B

藤崎図書館 習志野市藤崎6丁目20番11号
Tel. 047-475-3330



藤崎図書館は、3階が児童スペース、4階が一般スペースと、フロアが分かれています。「子どもがまだ小さくて、静かに出来ないから、図書館はちょっと…」という方でも、安心してご利用いただけます!

すでにご存知の藤崎図書館利用者の方は、この魔女が3階のどこにいるか、おわかりになりますか?もし、わからなかった方は、是非探してみてください。



文学賞について

文学賞は主に、「新人を主な対象とし未発表の作品を公募し、作品を選考し授与する賞」と、「新聞、雑誌への掲載や単行本の刊行などの形式で既に発表済みの作品や既存の作家に授与する賞」に大別できます。出版社主催の賞や地方自治体主催の賞などがあり、小説からノンフィクションまでジャンルは多岐にわたります。

最も有名なものは芥川賞と直木賞でしょうか。

皆さんは芥川賞と直木賞の違いをご存じでしょうか。両賞は芥川龍之介と直木三十五の業績を記念して菊池寛によって1935年(昭和10年)に制定されました。

芥川賞は、新聞、雑誌(同人雑誌を含む)に発表された純文学の新人作家、直木賞は新聞、雑誌(同人雑誌を含む)あるいは単行本として発表された大衆文学の新人もしくは中堅作家に与えられます。第1回受賞者は芥川賞が石川達三、直木賞が川口松太郎です。芥川賞は「文藝春秋」、直木賞は「オール読物」に受賞作品が掲載されることになっています。7月に上半期の発表が行われます。今年もまもなくです。

さて、このほかの文学賞ではどのようなものをご存知でしょうか？近年話題になる文学賞に「本屋大賞」があります。これは全国の新刊書を扱う書店員の投票でノミネート作品、受賞作品が決定します。他の文学賞とは違い、作家や文学者は選考に加わりません。書店員がいちばん売りたい本に贈る賞として創設され、第10回目となる今年には百田尚樹氏の『海賊とよばれた男(上・下)』が受賞しました。第1回受賞作は小川洋子氏の『博士の愛した数式』です。

他にも有名な文学賞、新しく創設された文学賞、様々なものがあります。皆さんが気になる文学賞はどんなものでしょうか？



あれこれ受賞作

左ページで紹介した他にも様々な文学賞があります。過去4年間の主な受賞作を紹介します。

2010年	日本SF大賞 坪田譲治文学賞 柴田錬三郎賞 川端康成文学賞	森見 登美彦 『ペンギン・ハイウェイ』 佐川 光晴 『おれのおばさん』 吉田 修一 『横道世之介』 高樹 のぶ子 『トモスイ』
2011年	司馬遼太郎賞 吉川英治文学新人賞 伊藤整文学賞 中央公論文芸賞 大宅壮一ノンフィクション賞	辻原 登 『韃靼の馬』 辻村 深月 『ツナグ』 角田 光代 『ツリーハウス』 井上 荒野 『そこへ行くな』 賞角幡 雄介 『空白の五マイル』
2012年	野間文芸賞 Bunkamuraドゥマゴ文学賞 山本周五郎賞 江戸川乱歩賞 開高健ノンフィクション賞 谷崎潤一郎賞	山田 詠美 『ジェントルマン』 金原 ひとみ 『マザーズ』 原田 マハ 『楽園のカンヴァス』 高野 史緒 『カラマーゾフの妹』 佐々 涼子 『エンジェルフライト 国際霊柩送還士』 高橋 源一郎 『さよならクリストファー・ロビン』
2013年	日本推理作家協会賞 島清恋愛文学賞 講談社エッセイ賞	山田 宗樹 『百年法(上・下)』 桜木 紫乃 『ラブレス』 平松 洋子



(市内図書館に所蔵あり)